

ともかわさき News

第18号 令和8年6月発行

1996～社会福祉法人ともかわさき30年～2026

<アトリエひらま～ゆるっと書道>

5月のアトリエひらまでは、書道教室を行いました。母の日が近かったため、日頃お世話になっている方への感謝のメッセージを書きました。

書の前にはスタンプ作りにも挑戦しましたが、思った以上に難しく、皆さん悪戦苦闘しながらも真剣に取り組みていました。完成した作品には、感謝の気持ちが込められた温かい雰囲気があふれていました。



<パラアート作品常設展示 in 川崎市青少年の家>

4月から6月までの期間、ピカソ・カレッジ二子のアーティストの皆さんが描いた絵が展示されています。会場に入ると、色あざやかで個性あふれる作品がたくさん並んでいて、見ているだけで楽しい気持ちになりました。同じ絵は一つもなく、それぞれに作者さんの思いや世界観が感じられ、とても見ごたえがありました。



<ダンス教室>

最近のダンス教室では、今年度のイベント出演に向けたダンスの練習を中心に行っています。現時点では出演するイベントは未定ですが、参加されている皆さんは楽しみながら積極的に練習に取り組んでいます。

レッスンでは笑顔があふれ、和やかな雰囲気の中で、少しずつ振付を身につけています。今後の発表の場に向けて、引き続き楽しく活動を続けていきます。



<菜園>

ゴールデンウィーク明け、ひらま菜園ではボランティアの皆さまと夏野菜の苗を植えました。さらに、ひらま生活介護の利用者の皆さんと一緒に、さつま芋の苗植えも行っています。

さまざまな方と共に取り組む菜園活動は、ひらま菜園の目的である地域交流の充実につながっています。これからも、菜園活動を通じて地域との関係を育みながら、誰もが気軽に参加できる温かな交流の場づくりを続けてまいります。



<まちかどパラアート展in洗足学園アプローチ>

第29回目となる「まちかどパラアート展」を5月13日（水）に高津区の洗足学園前のアプローチをお借りして開催しました。今回は長尾福祉会セルプきたかせ、育桜福祉会北部身体障害者会館作業室、ピカソ・カレッジ二子、ともかわさきの4法人から13点を出品展示いただきました。



<ふれあい市場開催>

5月15日（金）、川崎区砂子の川崎信用金庫本店で市内の各事業所が出店する「ふれあい市場」が開催されました。「ひらま」も出展しています。この催しには法人事務局分室が関わっています。



<育成会手をむすぶ親の会総会>

5月18日（月）、高津区のテクノかわさきホールで川崎市育成会手をむすぶ親の会第14回総会が開催され理事長が来賓としてお招きいただき挨拶をいたしました。ともかわさきの法人設立30年と事業所の整備、事業の再編適正化の進捗状況などをお話しました。

<COLORsかわさき2026展運営委員会>

5月21日（木）に第1回運営委員会が“ちどり”の会議室で開催されました。

作品の募集は6月12日（金）9時から7月6日（月）17時まで、事業所で3作品まで、9月末までに制作できる作品、詳しくは文化財団HPで確認してください。

展示会は11月7日（土）から18日（水）までミュージアム川崎4階企画展示室で開催されます。

<これ??なんだの答え>



これはひらまの菜園用に購入してもので菜園の土を耕し、畝を作っていく器具でした。耕運機に取り付けて使うことができます。

早速に夏野菜を植える畝づくりに活躍しています。

菜園の機械化も進展中です。

<法人設立30年記念マグカップ>

記念オリジナルマグカップが完成しました。いまでもお世話になりました多くの皆さんに事業所を通してお贈りしていきます。結構たくさん作りましたのでみなさんが利用していただければ幸いです。



<アートルース・パルアート>

「生活介護事業所ひらま」は、この度生活協同組合パルシステム宮前工場とアートルース契約を結びました。

パルシステムに因んで『パルアート』として5月12日にはお披露目会が開かれました。代表して3名の利用者さんにも参加していただき、作品の制作秘話や今後の抱負などを語ってきました。緊張MAXで涙あり笑いあり！良い経験をさせていただきました。作品は3か月ごとに入れ替え、工場で働く職員さんや宮前センターを訪れる地域の方に見ていただきます。

次は自分の絵を飾って欲しい、そのために何を描くか楽しみにしている利用者さんも多く意欲の向上につながっています。



↑ 取材を受ける3名。5月15日の神奈川新聞にお披露目会の様子が掲載されました。